



# 湯沢町の平成 19 年度決算



一般会計 収支は3億6974万5千円の黒字となりました

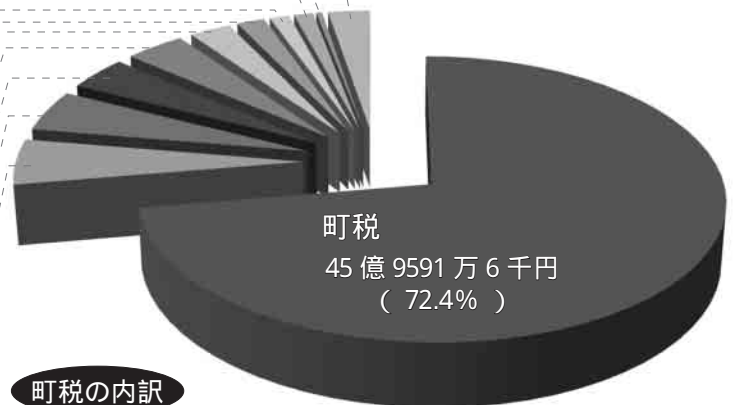
湯沢町の一般会計の収支は毎年度黒字ですが、昨年度のように、実質的な収支が赤字になった年度もあります。これは、収入が不足したために、多額の貯金を下ろして支出に充てなければならなかったからです。平成19年度は、収入に見合う支出の削減などにより、貯金を下ろさなくて済んだため、実質的な収支も黒字になりました。今後についても、収支のバランスを取りながら健全な財政運営に努めていきます。

	収支 A	収入のうち前年度からの繰越金 B	収入のうち貯金をおろした額 C	支出のうち貯金に積み立てた額 D	実質的な収支 A - B - C + D
平成17年度	3億5803万1千円	5億3375万2千円	0円	5億9352万1千円	4億1780万円
平成18年度	3億3572万5千円	3億5803万1千円	1億5445万2千円	130万4千円	1億7545万4千円
平成19年度	3億6974万5千円	3億3572万5千円	0円	1184万5千円	4586万5千円

## 収入の部

63億5147万3千円（対前年度比9億1490万2千円減）

- その他 1億6797万1千円(2.6%)
- 繰入金 2352万5千円(0.4%)
- 地方譲与税 7726万4千円(1.2%)
- 使用料及び手数料 7956万2千円(1.2%)
- 地方消費税交付金 1億1161万4千円(1.8%)
- 財産収入 1億6734万4千円(2.6%)
- 諸収入 2億4096万8千円(3.8%)
- 県支出金 2億4793万2千円(3.9%)
- 国庫支出金 3億365万3千円(4.8%)
- 繰越金 3億3572万4千円(5.3%)



### 町税の内訳

固定資産税	36億7511万7千円	町たばこ税	9289万3千円
町民税	7億794万4千円	軽自動車税	1627万7千円
入湯税	1億288万3千円	都市計画税	80万2千円

## 前年からの増減

### ポイント

- 町税** 7771万9千円減(1.7%減).....固定資産の価格の下落等により1億2185万5千円減、町民税が5117万4千円増になったことが主な要因です。
- 国庫補助金** 1億4571万3千円増(92.3%増).....道路工事関係費用についての国からの補助金が、1億347万円増となったことが主な要因です。
- 財産収入** 6617万円増(65.4%増).....湯沢温泉ロープウェーが民間営業となり、施設貸付収入が6644万9千円増となったことが主な要因です。
- 使用料及び手数料** 2456万9千円増(44.7%増).....観光事業会計で管理運営していた体験工房大源太や町営駐車場の利用料収入が、会計廃止で一般会計に計上され、2352万5千円増になったことが主な要因です。
- 地方譲与税** 6264万1千円減(44.8%減).....国から地方への税源移譲が実施されるまでの、暫定的措置であった所得譲与税の廃止で、6160万5千円減となったことが主な要因です。
- 繰入金** 6億216万8千円減(96.2%減).....温泉管理事業清算特別会計廃止による繰入金2億819万3千円減、減債基金繰入金2億5600万円減、財政調整基金1億5445万2千円減などが主な要因です。
- 諸収入** 3億9377万4千円減(62.0%減).....平成18年度に実施された観光事業会計廃止に伴う会計への貸付清算金3億5000万円の返還金がなくなったことが主な要因です。

## 支出の部

59億8172万8千円（対前年度比9億4892万2千円減）

労働費 949万8千円(0.1%)

災害復旧費 1501万9千円(0.2%)

議会費 5320万4千円(0.9%)

農林水産業費 1億1342万7千円(1.9%)

公債費 2億1889万3千円(3.6%)

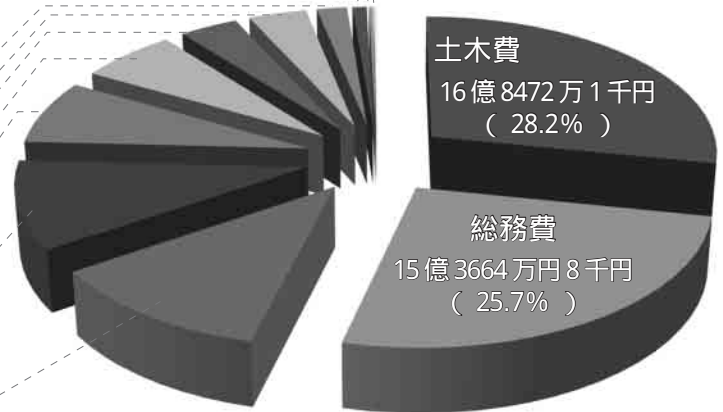
商工費 2億2076万4千円(3.7%)

消防費 3億7018万8千円(6.2%)

教育費 4億4650万円(7.5%)

衛生費 6億1452万7千円(10.3%)

民生費 6億9833万9千円(11.7%)



## 前年からの増減

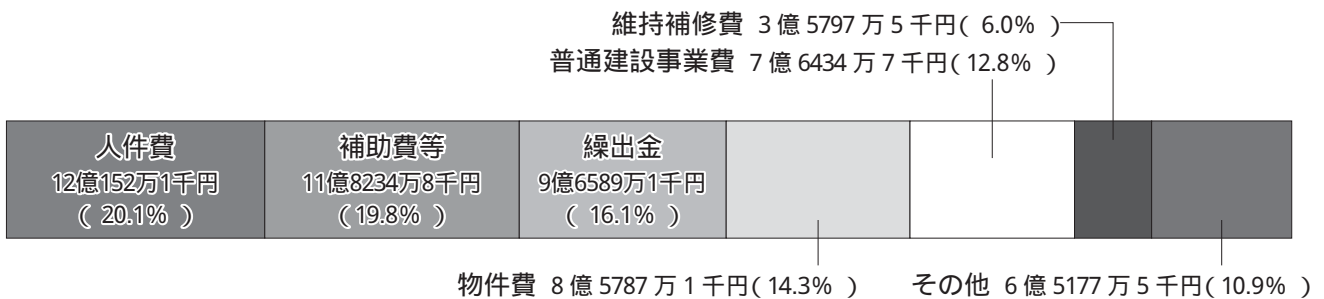
### ポイント

- 商工費** 13億8867万4千円減（86.3%減）  
観光事業会計を清算するために平成18年度に計上した補助金13億4064万5千円がなくなったことで、大幅に減となりました。
- 災害復旧費** 4075万2千円減（73.1%減）  
平成18年度は、大雪による道路及び施設の損壊復旧工事費が多額でしたが、それに比べて平成19年度は少額となり、大幅に減となりました。
- 土木費** 1億8803万7千円増（12.6%増）  
JR上越線中里跨線橋架替工事費や越後湯沢駅前の町道主水楽町線のバリアフリー工事にかかる道路改良工事費の増が主な要因です。
- 教育費** 4497万8千円増（11.2%増）  
トキめき新潟国体冬季大会スキー競技会開催に関する国体準備費4902万5千円増加が主な要因です。

## 性質別に見た支出の内訳

### ポイント

町が使ったお金(59億8172万8千円)をその性質別によりグラフにしてみると、お金の使い方の特徴を違う側面から見る事ができます。



- ▶ 支出の中で最も大きな割合を占めるのが人件費(20.1%)です。職員の数が多いたことが要因となっています。
- ▶ 次に大きな割合を占めるのが、各種団体への補助金や南魚沼市へのごみ処理、消防業務などにかかる委託費6億3225万円と、公営企業(水道事業、病院事業)の収入不足を補う補助金1億8659万7千円などを集計した補助費等(19.8%)です。平成18年度の決算ではこれが最も大きな割合を占めていましたが、平成19年度から観光事業会計への補助金がなくなったことにより、支出での割合も減少しました。
- ▶ 3番目に大きな割合を占めているのが、特別会計(国民健康保険・老人保健・介護保険・下水道)の収入不足を補うために支出された繰出金(16.1%)です。
- ▶ 4番目に大きな割合を占めている物件費(14.3%)は、旅費や消耗品、委託料などの消費的な経費です。事務と事業の見直しにより年々減少しています。

特別会計への繰出金、公営企業会計への補助金が、一般会計を圧迫していることがわかります。

## 特別会計

特定の事業を行う場合に、その事業の収入を支出に充て、一般会計と区別して経理する会計です。

### 国民健康保険特別会計

収入 - 支出 = 6274 万 6 千円

国民健康保険は、他の医療保険制度に加入していない皆さんのための制度です。歳出では、通常の保険事業のほかに出産育児一時金490万円、葬祭給付費265万円、人間ドック助成金1596万円等を支出しています。

**一般会計からの繰入金 6376 万 7 千円**

基金の残高

国民健康保険支払準備基金

1 億 922 万 2 千円

皆さんが納める保険税が支えです。

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
国民健康保険税	3 億 3866 万 3 千円	保険給付費	6 億 3393 万 4 千円
国庫支出金	2 億 7816 万 6 千円	老人保健拠出金	1 億 5431 万 7 千円
療養給付費	1 億 6291 万 7 千円	介護納付金	6627 万 1 千円
繰入金	9269 万 2 千円	保健事業費	1895 万円
繰越金	8918 万 1 千円	総務費	2042 万 2 千円
その他	1 億 6052 万 2 千円	その他	1 億 6550 万 1 千円
計	11 億 2214 万 1 千円	計	10 億 5939 万 5 千円

### 老人保健特別会計

収入 - 支出 = 12 万 1 千円

老人保健制度は、高齢者の医療の負担を軽く、安心して医療を受けられるようにするための制度です。対象となる75歳(一定の障がいのある人は65歳)以上の人に対し、医療費給付を行います。平成20年度から後期高齢者医療制度(長寿医療制度)に移行され、清算の期間を経た後廃止となります。

**一般会計からの繰入金 5400 万 3 千円**

平成20年度から後期高齢者医療制度に移行しました。

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
支払基金交付金	3 億 9443 万 6 千円	医療諸費	7 億 2515 万 9 千円
国庫支出金	2 億 2914 万 7 千円	諸支出金	784 万 3 千円
県支出金	5845 万 1 千円	総務費	312 万 5 千円
繰入金	5400 万 3 千円		
その他	21 万 1 千円		
計	7 億 3624 万 8 千円	計	7 億 3612 万 7 千円

### 介護保険特別会計

収入 - 支出 = 2587 万 8 千円

平成18年度の要介護(要支援)認定者数は、292人となっています。今後も介護サービスの利用が増加していくと見込まれることから、制度の安定的な継続を図るため、給付の適正化に取り組んでいきます。

**一般会計からの繰入金 1 億 2626 万 6 千円**

基金の残高

介護給付費準備基金

3530 万 3 千円

介護を必要とする高齢者を社会全体で支えます。

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
支払基金交付金	1 億 6171 万 5 千円	保険給付費	5 億 1630 万 5 千円
国庫支出金	1 億 2382 万 9 千円	諸支出金	4053 万円
繰入金	1 億 2626 万 6 千円	総務費	2997 万 9 千円
介護保険料	1 億 1287 万 6 千円	基金積立金	2459 万 6 千円
県支出金	8099 万 8 千円	その他	4079 万円
その他	7239 万 4 千円		
計	6 億 7807 万 8 千円	計	6 億 5220 万円

### 下水道特別会計

収入 - 支出 = 9109 万 9 千円

平成19年度末の下水道普及率は87.9%、水洗化率は82.7%となりました。国から事業認可を受けていた区域の整備はほぼ完了しています。しかし、これまでの急速な下水道整備のために、借金残高は平成19年度末で79億1113万5千円となっており、その返済のために一般会計からの繰入金が多額になっています。

**一般会計からの繰入金 7 億 2185 万 5 千円**

基金の残高

下水道施設改修基金 1 億 8751 万 4 千円

収入不足のため、下水道への接続促進が課題となっています。

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
繰入金	7 億 2185 万 5 千円	公債費	7 億 2820 万 6 千円
使用料・手数料	2 億 6824 万 3 千円	公共下水道費	1 億 6020 万 8 千円
国庫支出金	1400 万円	総務費	8261 万 6 千円
その他	1 億 434 万 3 千円	特定環境保全公共下水道費	4631 万 2 千円
計	11 億 844 万 1 千円	計	10 億 1734 万 2 千円

## 観光事業清算特別会計

収入 - 支出 = 0 円

湯沢温泉ロープウェー民営化により、平成18年度末で廃止された観光事業会計を清算するための会計です。平成18年度内に収入・支出を終わることができなかったものについて、この会計で処理しました。

観光事業会計は平成18年度で廃止されました。

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
財産収入	516万6千円	観光事業清算費	1億2028万1千円
諸収入	1億1511万5千円		
計	1億2028万1千円	計	1億2028万1千円

一般会計からの繰入金 0 円

## 公営企業会計

必要な経費を自らの収入で賄う独立採算の会計です。

### 水道事業会計

安定性が高く安全な水源を確保し、安心して飲める水の供給に努めます。

収益的収支 (経営活動に伴うもの)	収入	4億1711万7千円
	支出	3億8639万2千円
資本的収支 (建設改良のためのもの)	収入	5473万1千円
	支出	1億8479万5千円

年々水道使用量が減少していて、水道料金収入もそれに比例して減少してきていますが、事業費の削減により黒字決算(純利益2680万7千円)となっています。今後もより一層の経営効率化を図ります。

一般会計からの補助金 5659万7千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金で補填しました。

### 病院事業会計

平成14年度に開業した病院施設の会計です。

収益的収支	収入	9億7332万4千円
	支出	10億3435万9千円
資本的収支	収入	0円
	支出	2714万4千円

開院から5年が経過し、運営も順調に推移しています。平成19年度の事業収益は9億7332万4千円で、前年比2.1%の減となりました。

外来患者数 60,811人(1日平均 206.8人・前年比 1.1%減)  
入院患者数 21,146人(1日平均 57.7人・前年比 6.7%減)

一般会計からの補助金 1億3000万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金で補填しました。

## 特別会計・公営企業会計...これからの課題は？



- 特別会計と公営企業会計は、一部の例外がありますが、原則として一般会計から独立し、それぞれの事業の収入をそれぞれの支出に充てることで採算をとるべき会計とされています。
- しかし平成19年度、湯沢町の一般会計から特別会計と公営企業会計に回したお金の総額は、11億5248万8千円に上り、一般会計の支出総額の実に19.3%を占めています。
- 他の市町村に比べて、現在のところ湯沢町は税収が多く、借金が少ない財政状況です。でも、税収の柱である固定資産税が、これから年々減少してくることで、湯沢町の財政は今後非常に厳しくなることが予測されます。
- 一般会計から多額のお金を回しているこれらの会計(特に下水道特別会計)を建て直すことも、湯沢町の財政の課題となっています。